

はにい

スクールバディ

平成24年7月31日



他の生徒たちは、もう部活動を始める時間です。この日のスクールバディ活動が始まりました。

スクールバディの生徒たちは部活動にも所属していますが、スクールバディ活動のある日は、部活動を一時離れることとなります。この日は、自分たちが作成している「いじめ防止ポスター」を各クラスにどのように配るかについての話し合いです。

「昼食時間がいいよ。」「どうやって渡しに行こうか。」「じゃ、リハーサルしてみようよ。」と次々に意見が出ます。担当の3名の先生は、必要なときにアドバイスをするといった関わりで、生徒たちを見守っています。生徒と先生方の関係性の良さがうかがえます。

● いじめ防止プログラム「スクールバディ活動」とは

いじめ対策において、いじめに無関心な傍観者をなくすことが効果的なアプローチだといわれています。NPO法人湘南DVサポートセンター (<http://kodomo-support.org/>) が推奨するこのプログラムは、暴力を使わずに対立を克服する方法や、自分も他人も大切にすることが暴力防止につながることを学ぶものです。4回のワークショップ（①いじめは許されない ②加害者の背景 ③大切な自分 ④伝えよういじめ防止）を中学校で実施し、終了後、有志の生徒を募り「スクールバディ活動」のスタートを支えます。

「スクールバディ活動」とは、生徒同士による支え合いのシステムです。この中学校では、15人ほどの有志生徒が、委員会とは別に「スクールバディ」として活動しています。生徒会と協働し「朝のあいさつ運動」を行ったり、いじめの相談ができる相談室を開室したり、いじめ防止のポスターを作成し学級に掲示してもらったりと、生徒が話し合いを重ね、主体的に活動しています。

活動している生徒たちにインタビューしてみました。

—スクールバディをやってみようと思った理由は？

「自分はしゃべることが好きだから、しゃべる力でだれかの助けになりたいと思ったんです。」

「悩みをため込みやすい人のために、なりたいたいと思いました。」

「活動している先輩を見て、スクールバディにあこがれたので。」

—スクールバディになってよかったと思うことはなんですか？

「今まで嫌いな人に対して壁を作っていたんですが、相手の気持ちを考えることができるようになったと思います。」

—どんなことを意識して活動していますか？

「楽しく活動することを意識しています。」

「委員会とは違うという意識があります。委員会とは違った意味での責任感を感じるんです。」



今度は、下校しようとしていたスクールバディでない生徒にインタビューしてみました。

—スクールバディがクラスにいと、どうですか？

「クラスの雰囲気明るくしてくれるし、安心します。」

「目立つ活動だけでなく、目立たないところもしっかりやっているんです。」

—目立たないところもしっかりやっているって？

「たとえば、相談のないときには、校舎内の目立たないところの掃除をしている姿を見ます。」



活動をしている生徒の言葉も、その友だちの言葉も素晴らしい。
なぜ、このような活動になっているのか、先生方に聞いてみました。

「全ての生徒がワークショップを経験していて、スクールバディの活動が生徒に浸透しているんです。学校内に生徒たちによるいじめ防止のための組織があることは大きいですが、しかし、全てがうまくいっている訳でなく、それなりに課題もあります。」と若手ながらも先輩格の有泉先生。

「まだ生徒たちが何をやっているのか、学校の中で見えないところもあるので、生徒たちの活動を発信していきたいと考えています。」と教職二年目の伊迫先生。

「それなりにプレッシャーもあるけれど、この活動を守っていきたいです。」と今年新採用の長島先生も張り切っています。

校長先生からは、

「気負いなく、自然体で取り組んでいることがいいのではないのでしょうか。小さなことからひとつひとつ行っているんです。」とお話を聞きました。

経験に応じ、課題意識をもって取り組む3人の教師。活動に理解を示し、サポート体制のある全校の教師集団。そしてスクールバディの活動を温かい目で見守る校長先生。この辺に秘密があるのでしょうか。

取材を終え、帰ろうとしたときのことです。

まだ7月だというのに、「今 別れるとき 飛び立とう 未来信じてー」と大きな声で歌う男子生徒に会いました。

いい声です。

かながわ元気な学校づくり通信『はにいい』とは、
学校が元気になるように・・・

先生の仕事を受けて

学校に携わる大人たちがしていることを受けて

そして、もちろん子どもたちの育ちを受けとる

そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp

ホームページ： <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f420082/>